

圧密三線

支援の背景

沖縄の重要な伝統工芸品の一つである三線は、棹に黒色で高密度のリウキュウコクタンを用いて製造されます。しかし、この樹種は成長が遅いことや伐採が規制されていることなどが原因で、現在ほとんど入手できません。そのため、リウキュウコクタンに変わる新しい素材を用いた棹を開発する必要がありました。そこで、平成19年度地域資源活用型研究開発事業を活用し、(株)大真木材や(有)あけぼのファーム等と共同研究を行いました。

支援内容

比較的手に入りやすいリウキュウマツを用いて、乾燥圧密加工を施し、棹材としての活用を検討しました。また、圧密材製造時に使用する金型の改良を検討しました。

支援の成果

- ・リウキュウコクタンと同等の密度、安定した形状の圧密材を開発しました。
- ・(有)あけぼのファームにて製造販売を行っています。
- ・金型の改良により、コスト負担を軽減することができました。
- ・平成21年度沖縄県最優秀優良県産品賞を受賞しました。



圧密三線
(棹の材料:リウキュウマツ)